

# 取扱説明書(保証書)

## マンスリーカレンダー デジタル電波クロック

取説番号：HT-047RC-A

このたびは弊社商品をお買い上げいただき、  
ありがとうございました。

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、  
正しくご愛用ください。また、お手元に保存し、  
必要に応じてご覧ください。

### 保証書

製品型番

お買い上げ日

※保証期間はお買い上げ日より1年間です。

お客様氏名

お客様住所

ご連絡先電話番号

販売店

無効無効無効

無効無効無効

無効無効無効

お客様専用ダイヤル

042-703-8310

土日祝日を除く

平日10:00~12:00・13:00~17:00

アフターサービス 〒252-0134  
神奈川県相模原市緑区下九沢1638-1

発売元 保土ヶ谷電子販売株式会社

### 製品仕様

|          |   |
|----------|---|
| 受信電波     | 長波JJY(標準電波)<br>400kHz/600kHz自動切替式   |
| 自動受信回数   | 自動受信：1日最大5回<br>(AM:10:00~2:00, 3:00~4:00, 5:00)<br>※上記時間帯に受信しない場合は翌日の同時刻に再度受信を行います。 |
| 時間精度     | 受信していない場合<br>平均月差約±30秒以内(25°C以下使用の場合)   |
| 時刻表示     | 12/24時間制(表示切替可)   |
| カレンダー表示  | 2000年1月1日~2099年12月31日   |
| 使用温度範囲   | -9.9°C~+59.9°C  |
| 温度計表示範囲  | -9.9°C~+59.9°C<br>(-9.9°C未満の場合、LLを表示、<br>59.9°Cを超えるの場合、HHを表示)                       |
| 温度計精度    | ±3°C(10~+40°C使用の場合)   |
| 温度計表示範囲  | 20%~95%<br>(20%未満の場合、LLを表示、<br>95%を超える場合、HHを表示)                                     |
| 湿度計精度    | ±8% (30%~79%使用の場合)  |
| アラーム精度   | セット時刻に対し±0分以内   |
| スヌーズ作動間隔 | 約5分   |
| アラーム音    | 電子音   |
| 使用電池     | 単4乾電池3本(アルカリ電池推奨)<br>パックアップ用  |
| 電池寿命     | 約8ヶ月(パックアップ用)   |
| その他付属機能  | 六曜表示(2000年~2030年)、強制受信機能、<br>手動時刻設定機能、表示明るさ調節機能(強・中・弱)、パックアップ機能(外部電源障害保護機能)、置掛兼用    |

#### ●セット内容

時計本体、取扱説明書/保証書、ACアダプター(1.8m)  
※電池別売

### 保証・アフターサービス

- この製品はメーカー保証です。保証の内容については下記をご覧ください。本製品の保証ならびにアフターサービスは、日本国内においてのみ有効です。海外での保証・アフターサービスは行なっておりません。
- 保証期間中、保証規定に基づいた修理品はお買い上げ店がお預かりし、メーカーが無償で修理致します。必ず販売店名捺印の保証書を添えて修理をご依頼ください。
- 保証期間中でも無償修理の対象とならない修理品、および保証期間終了後の修理品は、ご希望により有償修理を承ります。
- 修理が可能な期間は、修理内容により異なります。また、修理が可能な場合でも規定の精度にならない場合があります。お買い上げ店とご相談の上、修理をご依頼ください。
- 修理の際、部品・その他すべての付属品は一部代替部品を使用させていただく事もありますのでご了承ください。
- 保証期間外もしくは保証の対象とならない修理の際は、本体の修理代金の他にお買い上げ店と修理窓口との間の往復運賃・諸掛り費用をお客様にてご負担願います。修理代金が標準小売価格を上回る場合がありますので、お買い上げ店とご相談の上、修理をご依頼ください。
- 保証期間中、終了後とも、修理品はお客様がお買い上げ店にお持ち込み願います。修理を依頼される際はお買い上げ店にご相談ください。
- 次のような場合には、保証期間内でも有償修理となりますのでご了承願います。
  - 本保証書のご提示がない場合。
  - 本保証書に販売店名およびお買い上げ日の記入が無い場合。  
または、字書きで書換えられた場合。
  - 誤ったご使用、不注意、不当な修理・改造、火災、天災地変による故障や損傷。
  - ご使用中に生じる外観上の変化  
(フレーム・ガラス、その他付属品のキズや変色等)

### 安全上のご注意 \*必ずお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

#### 絵表示の例

- ① してはいけない「禁止」の行為を示す表示です。  
② 必ず実行していただく「強制」を示す表示です。

### 警告

\*この表示と異なる誤った扱いをすると、  
死亡又は重傷などを負う可能性が想定される内容です。

#### 袋をかぶつて遊ばないでください

製品本体が入っていた袋はお子様が遊ばないように手の届かない所に保管または破棄してください。窒息の原因となります。

#### 電池の取り扱いについて

電池は分解、加熱、火の中に入れたりしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

電池は幼児の手の届かない所に保管して下さい。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師とご相談ください。

電池が漏液した場合は、液に触れないでください。万一、電池から漏れた液が皮膚や衣服に付着した場合は、ケガの恐れがあるので、すぐに水で洗い流し、目に入ったときは失明などの恐れがあるので、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。

#### ACアダプターの取り扱いについて

付属のACアダプターは本製品の専用アダプターです。本製品以外には使用しないでください。発火、発熱、破裂の原因となります。

必ずAC100Vを使用してください。誤った電圧で使用すると、故障、発熱、発火の原因となります。

ACアダプターをコンセントから引き抜くときは、必ずACアダプター本体を持って引き抜いてください。コードを引っ張ると、コードが傷つき故障、感電、火災の原因となります。

ACアダプターやコードの上に重いものを載せたり、改造したりしないでください。故障、感電、火災の原因となります。

電源プラグのほこり等は定期的に取ってください。ほこり等がたまるごと、湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。ACアダプターを抜いて電源プラグを乾いた布で拭いてください。また、長時間使用しないときは、ACアダプターを抜いてください。

日本国内専用です。海外では使用しないでください。  
必ず屋内で使用してください。

濡れた手でACアダプターを触らないでください。感電の恐れがあります。

### △注意

この表示と異なる誤った扱いをすると、  
傷害を負う可能性又は物的損害の発生する  
可能性が想定される内容です。

#### 分解したり改造をしないでください

火災、感電、ケガの原因となります。

#### 設置場所について

● 温度が50°C以上になる所  
(長時間直射日光が当たる所  
や暖房機具等の熱風や火気に  
近い所など)

● 不安定な所

● 静電気が発生する所  
● ほこりや浴室などの湿気の  
多い所

#### 本体取り扱い・保管について

落としたり、強くぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。

保管する際は、幼児の手の届かない所に保管してください。

本製品は医療用・業務用ではありません。日常生活での室内の温度・湿度を測定する目的でご使用ください。

商取引や、温度を公に証明する場合には使用しないでください。

温度または湿度の誤差等による二次的な損害等に対して、弊社は一切の責任を負いませんことをご了承ください。

電池の取り扱いについて

電池を誤使用すると液漏れ、発熱、破裂の恐れがあります。  
+ - (プラス、マイナス) を逆に入れないでください。

電池の着脱を長く伸ばした爪で行なうと、思わぬケガをおこす恐れがありますので、長く伸ばした爪での着脱はおやめください。

時計を使わない時は電池を外してください。電池を入れたままにしておきますと、電池の液が漏れて時計やその周辺を傷めたり人に危害を及ぼす場合があります。

電池交換時は、新しい電池を使ってください。電池から液が漏れていないかを念のためご確認ください。

製品仕様の電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていても指定の新しい電池と交換してください。同一の電池を長期間ご使用になりますと、電池の液が漏れて電極やその周辺が腐食することがあります。

● この取扱説明書の内容は予告なしに変わることがあります。

● 印刷による制限のためこの取扱説明書中の図が実際の表示と異なることがあります。

● この製品によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してもなんら責任を負いません。

● この取扱説明書を発売元の許可無くして変更・複製することを禁じます。

### こんなときには

1. 電源を入れ、秒表示がカウントを始めたものの、14分以上たつても正しい時刻を表示しないとき

● 電波受信の状態が不調です。別の位置に移動するか(できれば窓の近くまで表示部又は裏面を送信所に向ける)、考えられる障害物(テレビ・家電機器など)から離れた場所(約2m位)で、電池を約1分間おさずした後、再セットして一昼夜様子みてください。  
※送信所は「電波時計について」をご確認ください。

2. 時刻信号をキャッチし、液晶表示が正常な動きをしているにもかかわらず、現時刻と違った表示をしているとき

● 雷雨等の自然現象や、その他の電波障害により誤った電波信号をキャッチする場合があります。場所を変え、強制受信させてください。

※電池電圧が低下している可能性があります。

3. この時計を海外で使用するとき

● 標準時刻電波は、国によって周波数、時刻信号の内容が異なりますので、電波時計としては使用できません。

4. 時刻が表示されない、薄く表示されている、表示が異常なとき

● 電波受信中は受信感度を上げるために画面が暗くなります。  
● 表示の明るさが暗く設定されている場合がございます。裏面記載の「■表示明るさ調整機能について」をご確認いただき、明るさを調整ください。

5. 受信環境の良い場所がみつからず、すぐに時計を使用したいとき(受信をさせてても電波マークが点灯しないとき)

● 通常時間表示モードのときに、「戻る」ボタンを長押しすると「手動時刻セット」モードになりますので、手動で時刻を合わせながら、受信環境が良いと思われる場所に置いてください。自動電波

● 受信機能によって1日最大5回受信を行います。受信環境がよくなければ、標準時刻電波を受信して正しく時刻が表示されます。  
※受信環境と時刻、周辺の状況、天候により変化します。

6. 他の温度計と比べ、温度・湿度がずれる

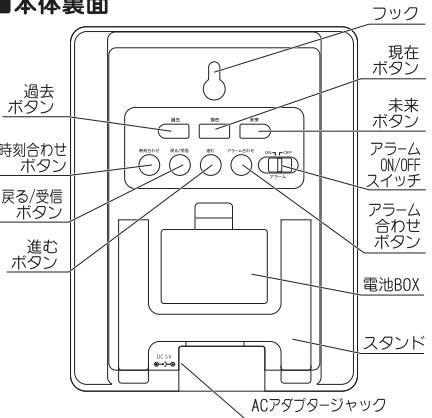
● センサーの位置によって、温度・湿度が測れる可能性があります。  
特に直射日光やエアコン等の風が直接当たる場所でと、正確な数値を検出できない場合があります。

# 各部の名称

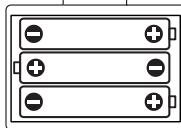
## ■本体正面



## ■本体裏面



## ■電池カバーを開けた図



※(+) (-) の方向を正しく入れてください。

# ご使用方法とご注意

## ■お使い始めに

本製品は電源を入れた際に電波受信モードに入り、画面を約15秒表示した後に画面が暗くなります。電波の受信感度を上げるために、故障ではありません。

電波受信までに最大で約14分は画面が暗い状態となります。

電波受信に成功もしくは失敗すると画面は明るくなります。

## ■バックアップ用電池について

本製品は電池ボックスに単4乾電池(バックアップ用)を入れることで、バックアップ機能を利用できます。バックアップ機能とは、設定された時刻情報を内部に記憶する機能です。停電から復帰した後、設置場所を移動する際に、記憶した時刻情報を表示します。

※単4乾電池はバックアップ用ですので、本製品をご使用の際にはACアダプターを必ずご使用ください。

## ■時計を設定する

- ①ACアダプターを本体裏面のACアダプタージャックへしっかりと差し込んで接続し、コンセントに差し込んでください。
- ②電源が入ると全画面表示され、電子音がなった後、初期受信を開始します。
- ※受信中は電波マークが点滅し、受信している周波数(40または40)が表示されます。
- ③電源をいれたら約15秒後に画面が暗になりますが、電波受信は継続しております。
- ※電波受信まで最大で約14分間は画面が暗くなりますが故障ではありません。
- ④受信に成功すると画面が明るくなり電波マークが点滅から常時表示に変わり、同時に受信した現在時刻の「年月日・時・分・秒・六曜」が表示されます。
- ⑤受信に失敗した場合は画面が明るくなり、電波マークが表示されません。再度、電源を入れ直すか、強制受信をお試しください。

## ■自動電波受信機能

- 自動電波受信とは、あらかじめプログラムされている時刻になると、自動的に受信動作を行い、自動で時刻を修正することを言います。この時計で1日最大5回(AM1:00、2:00、3:00、4:00、5:00)行います。
- ※AM3:00の時点で一旦受信成功すると翌日の受信時刻まで受信しません。
- ※電波受信中は「スヌーズ/ライト」「戻る/受信」ボタンと「アラームON/OFF」スイッチ以外の操作はできません。

## ■自動電波受信以外で受信させる(強制受信)

- 通常時刻表示画面で「戻る/受信」ボタンを2秒以上長押しすると、強制受信を始めます。
- ※受信を中止させる場合は、受信中に「戻る/受信」ボタンを「電波マーク」が消えるまで(1回または2回)押すと受信を強制的に終了させます。
- 受信に成功した場合、受信した時刻を表示します。
- 受信できなかつた場合は、電波マークが消え、自動受信を行なう前の時刻を表示します。「受信しづらい、誤った時刻を表示した場合」をご参照ください。

### 受信しづらい、誤った時刻を表示した場合は

- ①夜間は幅間と比べて電波ノイズが減少し、電波受信状況が良くなるため、一昼夜のそまにして様子を見てください。※1日に最大5回の電波受信を行います。
- ②後記「使用場所について」をご確認いただき、窓際など電波を受信しやすい場所に置いてもう一度上記を行い、再度受信を行ってください。

## ■手動で任意の時間を設定する

- ①「時刻合わせ」ボタンを2秒以上長押ししてください。
- ②「時」が点滅します。「進む」または「戻る/受信」ボタンで「時」をセットし、「時刻合わせ」ボタンを押してください。
- ③「分」が点滅します。「進む」または「戻る/受信」ボタンで「分」をセットし、「時刻合わせ」ボタンを押してください。

- ④「秒」が点滅します。「進む」または「戻る/受信」ボタンを押すと0秒に合わせることができます。「時刻合わせ」ボタンを押してください。
- ⑤「年」が点滅します。「進む」または「戻る/受信」ボタンで「年」をセットし、「時刻合わせ」ボタンを押してください。
- ⑥「月」が点滅します。「進む」または「戻る/受信」ボタンで「月」をセットし、「時刻合わせ」ボタンを押してください。
- ⑦「日」が点滅します。「進む」または「戻る/受信」ボタンで「日」をセットし、「時刻合わせ」ボタンを押すと、時間とカレンダーの設定は終了となります。

※設定時に「進む」ボタンを1回押すと設定値が1ずつ増加し、2秒以上長押しすると早送りができます。

※設定時に「戻る/受信」ボタンを1回押すと設定値が1ずつ減少し、2秒以上長押しすると早戻しができます。

※曜日は設定された日にちによって自動的に変更されます。

※点滅時間は約20秒です。点滅状態で何も操作をしない場合は設定途中の表示になります。

※手動で設定された場合、「電波マーク」は表示されません。

- 「過去」「未来」ボタンを押すと過去と未来のカレンダーを確認できます。現在に戻る時は「現在」ボタンを押してください。

※約20秒操作を行なないと、現在日時に戻ります。

## ■六曜表示について

電波受信もしくは手動にて設定された年月日の六曜が表示されます。2000年から2030年までの六曜を表示します。

※初期設定では2024年1月1日(赤口)を表示します。

※任意の六曜は表示されません。

## ■温湿度計について

- 温度が-9.9°C未満の場合はLLと表示され、59.9°Cを超えた場合はHHと表示されます。

- 湿度が20%未満の場合はLLと表示され、95%を超えた場合はHHと表示されます。

## ■表示明るさ調節機能について

本体前面の「スヌーズ/ライト」ボタンを1回押すごとに明るさを強・中・弱の3段階で調節できます。

※電波受信中は「スヌーズ/ライト」ボタンを押しても明るさ調節はできません。

## ■電波時計について

電波時計とは、正確な「日本標準時」のせた標準電波を受信して正確な時刻を表示する時計です。標準電波は独立行政法人情報通信研究機構が運用しており、福岡県の「おおたかどや山(40kHz)」と、福岡県と佐賀県の県境の「がねね山(60kHz)」の力所から送信されています。これらの電波は条件の良い時は発信所から1,000~1,200km離れた距離でも受信可能とされ、ほぼ日本全国をカバーしています。ただし、受信範囲内であっても天候・地形・建物・時間帯・置き場所・時計の向きなどの影響で受信できない場合があります。その場合はクオーツ時計として製品様に記載された精度で作動します。

標準電波・電波送信に関する詳しい情報はこちらのホームページをご覧ください。  
独立行政法人情報通信研究機構 <https://www.nict.go.jp/>  
日本標準時プロジェクト <https://jjy.nict.go.jp/>  
※送信設備のメンテナンスにより電波が停波される場合がございます。  
※上記のURLは予告なく変更される場合があります。

## ■使用場所について

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際は出来るだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。

- ビルの中、ビルの谷間、地下。
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
- テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
- 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
- 乗り物の中(自動車、電車、飛行機など)
- その他の電波ノイズを発生させるものの近く。
- スチール机等の金属製の家具の上や近く。

標準時刻電波は、国によって周波数、時刻信号の内容が異なりますので海外では電波時計としては使用できません。又、日本と時差のある諸外国で使用する場合、まれに日本表示時刻電波を受信して、日本の時刻を表示する場合があります。